

第5章

リーディング・プロジェクト

狛江市がめざす自然環境像の実現に向けた取組を効果的・先導的に進めるため、取組の体系で示した個々の施策を組み合わせた5つの「リーディング・プロジェクト」を掲げ、先導的かつ重点的に取組を進めます。

これらのリーディング・プロジェクトの取組を進めることによって、生物多様性に係る取組や市民意識・取組の気運を戦略的に高めていくことをめざします。



表 5.1 リーディング・プロジェクトを構成する施策テーマ

基本方針 施策テーマ プロジェクト	Ⅰ こまエコ ネットワーク			Ⅱ こまエコ スタイル			Ⅲ こまエコ コミュニティ	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1 こまえの水辺 づくり	守る			知る				協働 する
2 生きもの育む ご近所公園づくり	守る	調和 する		知る				
3 生きものを よぶ庭づくり		調和 する	つな ぐ			活か す	活動 する	
4 こまえ生きもの 探検隊				知る	伝え る		活動 する	
5 生きもの育む 学校・人づくり			つな ぐ	知る	伝え る			

<施策テーマ・凡例>

- ①自然を守る
- ②自然とまちの調和をはかる
- ③自然を生み出し、つなぐ
- ④自然を知る機会の充実をはかる
- ⑤自然に関する情報の蓄積と発信をすすめる
- ⑥自然資源を活かし、暮らしを豊かにする
- ⑦市民団体等の主体的な活動を促進する
- ⑧連携・協働の輪をひろげる

こまえの水辺づくり プロジェクト

狛江市の代表的な自然であり、生態系ネットワーク^(p8)の軸である多摩川等の水辺について、外来種*駆除や清掃活動等による環境保全、学校教育との連携や情報発信等による生物多様性に係る普及啓発を通じ、将来にわたって生きものの生息環境が確保されるよう努めます。



- **実施場所** 多摩川等

- **実施内容**

- 市民団体との協働によるアレチウリ駆除を継続するほか、アレチウリ以外の特定外来生物*（オオフサモ、オオカワヂシャ等）の駆除等、環境改善の計画的な実施について検討します。
- 「生きもの調査会」^(p34)と連携し、指標種の生息状況や外来種駆除成果を把握し、保全・駆除活動へのフィードバックを行います。
- 流域自治体と外来種対策の実施状況や駆除方法の情報共有を図ります。
- 清掃活動の継続実施を図るとともに、海の生態系にプラスチックごみ等が及ぼす影響についての普及啓発を進めます。
- 自然体験等のイベントを通じた多摩川、野川の自然環境の魅力・大切さや生物多様性に係る普及啓発を進めます。
- 生物多様性に係る副読本作成では、多摩川や野川の生物多様性、環境管理活動、流域連携等を盛り込み、地域の自然を環境教育に活かします。



「狛江水辺の楽校」^(p69)・市民・狛江市が協働しアレチウリ駆除を進めています。



野川の水辺もたくさんの生きものが生息する環境となっています。

※「*」の付いた用語は、資料編に用語解説を掲載しています。

● 期待される取組成果・効果

	水辺の自然環境の保全・質的向上
	学校教育における学習・体験フィールドとしての活用や学びの推進
	国や東京都、流域自治体、市民団体との連携・協働による生物多様性向上の取組推進

● 期待される指標種への効果

指標種	効果
チョウゲンボウ	細流やたまり、草原、樹林等、多様な自然を保全し、餌となる生きものの生息環境と、チョウゲンボウにとっての採食地（草地等）の確保を図ります。
オオヨシキリ	ヨシ原の分布やオオヨシキリの繁殖状況を把握し、必要に応じてアレチウリ駆除等、繁殖環境の保全を図ります。
ヒバリ	アレチウリの駆除を進め、丈の低い草地面積を確保することで繁殖環境の保全を図ります。
ニホンアマガエル カワセミ ドジョウ アカトンボの仲間 ハグロトンボ	河川敷において、細流やたまり、浅水域等多様な水辺環境を保全することにより、水辺をよりどころとする生きものの生息・繁殖環境の保全を図ります。
ホンドイタチ ホンドタヌキ	多様な水辺環境を保全するとともに、河川敷を通じた上下流域への移動環境の改善により、餌となる生きものの生息環境を確保し、広域を移動して暮らす種の生息・繁殖環境の保全・拡充を図ります。

生きもの育むご近所公園づくり プロジェクト

市民の日常的な憩いの場である公園において、多様な小鳥類や昆虫類、小動物等が生息する環境づくりと、子どもたちが自然を体験し自ら学ぶことのできる場づくりを市民参加により行います。

生きものの生息と市民の安全性・快適性が調和した整備・維持管理等についても検討します。

- **実施場所** 狛江市内の公園
- **実施内容**

- 公園における生きものに配慮した緑や水辺の維持管理方法について研究・構築し、これにもとづく維持管理を進めます。
- 生きものを育む「ちょこっとビオトープ」(p64)の創出をはじめ、生きものの生息・生育空間を創出します。
- 「生きもの育むご近所公園」を自然観察・体験イベントの場として活用します。



石を積み上げた「ちょこっとビオトープ」
(西河原公園)



ほったらかして草むらを再生した
「ちょこっとビオトープ」
(西河原公園)

● 期待される取組成果・効果

守る	自然環境の拠点である公園における自然の保全・質的向上
調和 する	保全・活用、生活環境のバランスを考えた維持管理・活用の実践
知る	狛江市の自然や生物多様性の認知度の向上 自然体験、自然を学ぶ場の整備・活用の推進

● 期待される指標種への効果

指標種	効果
ヒガシニホントカゲ	改修や維持管理で発生する石・ブロックや枝等を積み重ねるエコスタック*の創出、一部の粗放管理による草地の保全等により、トカゲをはじめとする小動物の生息空間づくりを行います。
ニホンアマガエル アカトンボの仲間	水辺環境の改善（水辺植生等の再生）や多様な水深の水辺の創出、維持管理上の配慮（水抜き時期や生息生物の保全等）により、オタマジャクシやヤゴが天敵から隠れられる場所を確保することで、カエル類・トンボ類の生息環境の改善を図ります。
その他	ちよこっとビオトープの創出や草原の再生等、多様な生きものを意識した環境づくり・維持管理を行うことで、小動物の生息環境の保全・創出を図り、ひいては生態系の上位にいる生きものの生息への寄与につなげます。

※「*」の付いた用語は、資料編に用語解説を掲載しています。

生きものをよぶ庭づくり プロジェクト

個人の庭先や生け垣、ベランダ等、ちょっとした空間に生きものをよびこむ環境づくりを進めます。鳥やチョウをよぶ在来の草木や水飲み場の創出、鳥の巣箱の設置等生きものをよぶ仕掛けや生きものとの関わりについて市民に周知を行い、庭づくりを楽しむ過程を通じて生物多様性について知り、理解を深めるとともに、小さな緑と水辺をつなげることによって、生態系ネットワーク^(p8)の形成を図ります。

- **実施場所** 狛江市全域
- **実施内容**

- 鳥やチョウ等の好む花実のなる在来の草木、ちょこっとビオトープ^(p64)、鳥の巣箱、水飲み場等の庭先でできる取組の周知を図ります。
- 講習会等により、民有地における生きものの生息・生育する拠点づくりを進めるとともに、生物多様性の大切さについても伝えます。
- 見本園「(仮称)チョウをよぶ野の草ガーデン」を作り、当該事業の周知PRを図ります。
- 在来の野花の種の採取や苗づくり・販売等における狛江市内園芸業者との連携、オープンガーデンの取組との連携を進めます。



庭先のちょっとした緑も生きものの重要な生息空間となっています。
(狛江市内)

● 期待される取組成果・効果

調和 する	在来植物の活用の推進
つな ぐ	まちなかの生態系ネットワークの形成
活か す	自然のある暮らしを楽しむエコライフスタイルの浸透 狛江市内緑化産業の振興
活動 する	市民等による主体的な取組の促進

● 期待される指標種への効果

指標種	効果
ヒガシニホントカゲ ナナフシモドキ ほか	庭づくりによって、指標種であるヒガシニホントカゲのほか、シジュウカラやメジロ等の小鳥類、チョウ類、トンボ類、ナナフシモドキ（ナナフシ）等、季節ごとの生きものの訪れを楽しむことができる自然の小さな拠点が創出され、それらが増えることによって、市全体の生態系ネットワークを形成し、多様な生物が生息できる環境づくりにつながります。



こまえ生きもの探検隊 プロジェクト

市民の身近な自然に対する関心・理解を高めるとともに、広く市民から生きもの情報を集め・蓄積することを目的として「こまえ生きもの探検隊」(p71)を実施します。

また、「生きもの調査会」(p34)の情報とあわせて蓄積・活用することができるような仕組みづくり、データベースづくりを行います。

- **実施場所** 狛江市全域
- **実施内容**

- 「こまえ生きもの探検隊」の継続的な開催方法を検討するとともに、データベースを作成して寄せられる情報の蓄積・活用を行います。
- 狛江市の自然、対象種、主な探検場所等をまとめ、周知を図ります。
- 様々な媒体や機会を通じて調査結果を広く市民に周知します。



- **期待される取組成果・効果**

知る	市の自然や生物多様性の認知度の向上
伝える	狛江市の自然情報の充実。自然拠点のモニタリングの継続実施
活動する	プロジェクト参加呼びかけによる市民団体・市民の活動の促進

生きものの育む学校・人づくり プロジェクト

狛江市の生物多様性を学ぶための情報を盛り込んだ副読本を作成し、市立学校等での活用を通じて、子どもたちの生物多様性に関する学びの推進を図るとともに、学校敷地内における身近で自然に触れる空間づくりを検討・推進します。また、教員が授業等に活用できるよう、自然環境に関する情報や写真等のデータを提供します。

「狛江市小学生環境サミット」(p34) で発表される子どもたちの環境に関する学習成果について、狛江市内公共施設等での展示や狛江市ホームページ上での公開を通じ、広く周知を図ります。

● 実施内容

- 子どもたちを対象とした狛江市の自然拠点や生物多様性に関する副読本を作成し市立学校等に配布します。また、電子データとしてインターネット上で公開し、一般市民への周知にも活用します。
- 学校教育と連携し、学校敷地内における生きものを育む空間（ちょこっとビオトープ (p64)）づくりとその観察を通じて、生きものへの関心を高め、理解を深めます。
- 市の自然環境に関するデータを学校へ提供し、学校教育における生物多様性に関する学びの支援を図ります。
- 隔年で開催している「狛江市小学生環境サミット」の成果を市内公共施設やホームページ上で公表し、子どもたちの達成感につなげるとともに、多くの市民への周知を図ります。

● 期待される取組成果・効果

つなぐ	学校内で生きものをよぶ緑や水辺の創出の推進
知る	狛江市の自然に関する副読本の作成及び活用の推進 狛江市内自然拠点の学びの場としての活用の推進 学校等での生きもの育む空間づくりの推進
伝える	狛江市の自然環境に関するデータの活用の推進